



議会だより



福田議長に中間答申を手渡す議会活性化検討委員会のメンバー（9月4日）

9月定例会の概要

平成19年第3回越前市議会定例会は、9月4日から20日までの17日間にわたって開かれました。

この定例会では、市長提出の補正予算案6件、条例案6件、一般議案6件、平成18年度各会計決算認定案16件、人事案3件が提出されました。また、議員から請願1件、意見書案2件が提出されました。各会計決算認定案と請願1件、意見書案1件は閉会中の継続審査とし、その他の議案は委員会の審査を経て、本会議で採択の結果、いずれも可決・同意しました。

また、一般質問には13人の議員が市政全般にわたって質問を行いました。

主な内容

議会活性化検討委員会中間答申など

議会報告会を開催	2頁
予算・条例審査	3～4頁
一般質問	5～8頁
意見書・請願など	8頁
審議議案一覧など	9頁
委員会審査など	10頁

議会活性化検討委員会

去る9月4日に、これから時代にふさわしい議会運営等のあり方を、中長期的な観点から調査検討するため議長の私的諮問機関として設置された議会活性化検討委員会から、議長に対して中間答申がなされました。内容は次のとおりです。

第一次答申

1 議会の監視機能の充実強化について

現在の法令上の規律により、議会の監視権が十分に及んでいない賃貸借契約に対し、議会の監視機能を発揮させるため、次のとおり必要な措置をとることが必要である。

- (1) 地方自治法施行令の改正を求める意見書を関係行政庁に提出する。
- (2) 一定額以上の賃貸借契約については、議会に対してその内容を報告する義務を理事者に課し、議会はその契約に關し、意見を述べることができると定めた条例を制定する。

2 所管事務調査の充実について

本市議会では、会期が短いこと、長提出の付託案件の審査を優先して行う傾向があること、所管事務調査の重要性が認識されていないことなどから、所管事務調査が行われていない現状にある。

所管事務調査は、常任委員会に与えられた権限であり、政策立案をその本来の目的とし、さらに行政に対する批判・監視・牽制といった観点からの調査もなしうるものであり、委員会としての機能や権限を十分に発揮し、活性化させるため、積極的に行う必要がある。

また、所管事務調査の結果については、

- ①委員会で決議する。
- ②本会議で決議案として提出する。
- ③意見書案として提出する。
- ④本会議で報告する。

など、その成果を委員会の意思として確定させることも必要と考える。

3 議会報告会について

民主的なまちづくりと効率的で自立した行財政運営を進めるうえで、議会の持つ機能や政策提言能力を高め、住民に信頼される議会であることが重要である。

また、議会は、どのような考え方のもとで議決権を行使したのか、その結論に至るまでの過程を含めて市民に明らかにする責任がある。

そのためには、議会自らが地域に出向いて、議会活動の状況や市政に関する情報を市民に直接報告、説明するなど、市民との連携を密にすることが必要である。

議会が市政の諸課題に柔軟に対処できるよう、市民から直接、議会活動に対する批判や市政に対する意見、要望、提言などを受けるとともに、議員と市民お互いが自由な形で情報及び意見を交換できる場として議会報告会の開催に向けた研究を進める必要がある。

なお、議会として公正に住民の全体意思を代表するとともに、議会活動について市民に正確に説明責任を果たしていくためには、議員間の自由討議は不可欠な活動であり、これを積極的に推進することについての研究を進める必要がある。

議会報告会を開催します

出席議員	場所	日時
川崎 前田 玉村 玉川喜一郎	健康福祉センター (アルプラザ)	平成19年11月30日(金) 午後7時30分～午後9時 (午後7時から開場受付)
悟司 一博、正夫、	多目的ホール	
閑上 福田 利英子		
利英子、直行、往世		

この報告会は、議会での審議状況を報告させていただき、市民のみなさまから議会活動に対するご意見・ご提言をいたくために開催するものであります。お気軽にご参加ください。今回は第一回目の開催です。来年度以降の予定については、決まり次第お知らせします。

答申のあつた議会報告会を開催します。

平成19年

9月定例会

総額9億9,888万円を追加補正

補正額 一般会計 5億6,900万円（予算総額278億2,800万円）

特別会計 4億1,720万円（予算総額278億8,425万円）

企業会計 1,268万円（予算総額26億6,533万円）

予算審議

※（）内は質疑をした議員名



▲こしの都1500年祭浪漫回廊パレード



▲整備が進む瓜生水と緑公園

■ 事業団経営改善業務委託料
600万円

(大久保・玉川・細川議員)

■ こしの都1500年プロジェクト助成事業
50万円

(題佛議員)

問 市は、この事業に多額の助成金を出しているが、どこまで事業の内容を把握しているのか。多彩な事業を行っているが、実行委員会で動いているだけで、市民サイドはわかつていないのでないのではないか。

答 まちなかのにぎわいのためにも、実行委員会には、出る限り市民と連携した事業の展開を要望していく。

■ 公園整備事業
2億円

(中西議員)

■ 経営改善は日々の業務の中で取り組むものであるが、今回の補正は、何か特別なことを考えているのか。

答 今後の事業団のあり方にについて、きちんと体制を整えるべく研究をしてもらうための委託料である。

■ 地域密着型介護施設整備事業
3000万円

(三田村議員)

問 瓜生水と緑公園の用地取得費が計上されているが、東部下水処理場との兼ね合いもあり、いつごろの完成を予定しているのか。

答 現在整備している公園北側については、平成24年ぐらいいを目指しているが、公園南側についても並行して整備を進めていきたい。

■ 防災行政無線維持管理事業
58万円

(関議員)

問 認知症の要介護者にデイサービスを提供する小規模事業所の整備を、3カ所追加補正して5カ所とするが、具体的にどの地域で実施され、事業所の選定基準はどうなつてているのか。

答 西、南、旧今立地区でそれぞれ1カ所、神山、坂口、北新庄、味真野地区で1カ所の計5カ所で計画をしており、選定については、選定会議を開いて決定していく。

■ 防災行政無線維持管理事業
58万円

問 この秋から始まる、国の緊急地震速報と防災行政無線は連動していないのか。

答 市には全国瞬時警報システムが導入されており、そこから行政の同報無線に連動するように考えている。

■水稻振興対策事業

415万円

(玉村・嵐議員)

問 米の大粒化技術の導入は、なぜコシヒカリだけに限定するのか。

答 コシヒカリは北陸4県が主な産地であるが、福井県だけが1.85ミリの小さい網目基準で市場価格が低いため、大粒化事業に取り組み競争力のある米産地を育成していく。

■外国人市民相談事業

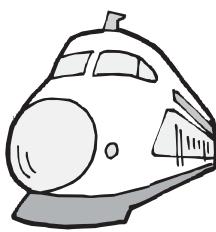
△460万円

(関・大久保議員)

問 国際交流員の帰国によりこのポストが空席であるが、

越前市は外国人が増えてきており、早急な対応が必要ではないか。

答 今まで国際交流員が行っていた市広報の中中国語とポルトガル語の翻訳作業を、国際交流協会に委託して対処したい。



■情報基盤整備事業

415万円

(中西議員)

問 今年度当初に小・中学校のコンピューター整備を行つたが、どうしてその時に今回

のネットワーク整備が一緒に出来なかつたのか。

答 今回は、防災の観点から、通信回線を太くし安定化を図ることを目的にしている。

■北陸新幹線促進事業

81万円

(玉村議員)

問 新幹線が建設された場合の並行在来線の扱いについて、どのように考えるか。

答 県では第3セクターでの運営を打ち出しており、市としても今の鉄道を守つていなければならないと考えている。



▲湯楽里

■しきぶ温泉湯楽里管理事業

800万円

(金子議員)

問 湯楽里が開設して14年ほど経つたが、湯の出る量が鈍つてしまつていいないか。

答 今回、ポンプをオーバーホールする際に、温泉の湯の量についても調査を行なう。

■高齢者いきがい事業

525万円

(三田村・玉村議員)

問 認知症患者の在宅での自立支援をする事業だが、この事業実施主体はどこか。

答 支援体制を構築する推進会議は市で行つが、見守りネットワークを構築する事業については、自治振興会単位でモデル的に進めていただこうと計画している。

議案審議

※（ ）内は質疑をした議員名

■工事の請負契約について

(大久保議員)

問 南中山小学校の改築工事に伴う請負契約であるが、この中には環境への配慮がされ

ていないのではないか。

答 学校建設に伴う環境については、期成同盟会や地元と協議をする中で、十分配慮しながら進めている。

条例審議

※（ ）内は質疑をした議員名

問 駐車場設置及び管理条例の一部改正について

答 JR武生駅東の月極駐車場の一部を遠距離利用者専用の回数制駐車場に整備する条例だが、具体的な整備内容と利用方法は。

答 商工会議所跡地駐車場の廃止に伴い34台分を整備する。JR武生駅で切符を購入する際に、駐車場の利用を申し出て整理券を受け取り、帰つて着た時にこの整理券と引き換えに専用カードをもらい、このカードを精算機に入れて支払をしてもらう。



▲整備された遠距離利用者用駐車場（武生駅東駐車場）

一般質問

新世紀・市民派ネットワーク

上山 直行

日本共産党議員団

前田 修治

政新会 城戸 茂夫

大久保 恵子

水道料金について

福井型コミュニティ・スクールについて

福井型コミュニティ・スクールに対する見解と、

教育委員会としての育成対応は。

Q 県水の受水により値上げが検討されているが、低所得者に配慮した料金体系や減免制度は考えられないか。

A 独立採算制と受益者負担の原則により、水道事業者として減免制度の創設は考えていないが、低所得者への配慮については、水道事業会計の中で出来る事は対応させていただく。

教育基本法の改正について

Q 今回の改正は、スポーツ、文化、生涯学習に関する部門を市長部局へ移そうとするものだが、市としての考えは。

A この分野の事務を市長が所掌できることになるが、スポーツでは学校教育、文化では文化財保護が除かれているなど課題があり、これまでの知識、経験を生かすため教育委員会で推進していきたい。

農業ビジョンについて

Q 国の農業政策や社会情勢に対応するため、将来を見据えた越前市独自の農業ビジョンの策定は。

A 現在、担当課では研究を始めており、今年の秋には府内に検討会を立ち上げ、市の農業ビジョンをどのように取りまとめていくかを検討する。



子育て相談窓口 ▶

相談窓口のワンフロア化

Q 最近の子育て相談は複合的で一つの課では納まらないため、相談窓口をワンフロア化して総合的な相

A 相談窓口は市役所と福祉健康センターに分かれしており、統合は困難であるが、ネットワーク化を図りワンストップサービスでの対応の充実を検討している。

Q 開票事務迅速化について

A 先の参議院選挙の開票結果は、時間の短縮、経費節減等につながったのか。

Q 今年の4月から、高額医療費の限度額を超えた部分について一時立替をしなくてもよくなつたが、国保税滞納者はこの制度が受けられるのか。

Q 現在、工業用水が余った部分について一時立替を行っており、工業用水の活用法として、吉野瀬川ダムを治水専用のダムに方向転換できないか。

Q 前回の参議院選挙と比べて、職員を2割、50人削減した上で、開票確定時間が55分短縮されたことにより、概算で55万円の経費節減になつたと考えられる。

Q 滞納者一戸一戸の実態調査を行ない、分納誓約書を提出するなどの納入意志がある場合は対象となる。

Q 県において、治水を含めた転用について、さまざまな角度から検討されてきたが、今の段階では転用は困難であると聞いている。



◀ 吉野瀬川ダム（イメージ図）

大志 題佛 臣一

公明党議員団 吉田 慶一

新世紀・市民派ネットワーク
佐々木 富基

政新会 川崎 悟司

除雪対策について

Q

従来の除雪業者の中には、入札指名停止になつた業者が3社入っているが、この3社の担当する区域が、この除雪はどうするのか。

A

越前市の建設業会からは、全面的な協力をいただきける旨の回答をいたしており、安全で快適な道路の確保に努めたい。

公用車の入札について

Q

現在、経費節減のため公用車の車検入札を行つてはいるが、このよう入札をすることが経緯は。

A 行政監査の指摘を受け、1台ごとではなくまとめて競争入札を行つた。

課題があれば、競争性、透明性が確保され地元業者の育成につながる仕組みを考えていきたい。

温暖化対策について

Q

省エネ対策の一環として、公共施設の屋上や壁面に植物を植えるなどの緑化事業に取り組めないか。

A 公共施設への導入について、維持管理経費や予算の問題もあり、今後施設の改築、改修の際にメリット、デメリットと併せて検討する。

音声コードについて

Q

視覚障害者の音声コードについては全国的に普及して來ているが、越前市では、福祉課の窓口に設置が予定されているだけである。

A 今後、他の公共施設に設置を拡大させていく考えはないか。

来年度以降については、障害者団体の方の意見を聴いて、拡大に向けて取り組んでいきたい。



◀ 視覚障害者用活字文書読み上げ装置と音声コード（18mm四方の切手サイズの中には、日本語約800字の情報を記憶させることができます。）



通り名の復活について

Q

中心市街地活性化基本計画の中には、蛭子通りやいくつかの古い通りの名前が出ているが、旧武生地区に残る通り名を復活する考えは。

A 通り名については、基本計画の中にまちなかの回遊コースを整備する中で、誘導サインをはじめとした色々な方策を考えていく。

福武線の存続について

Q

先に福井鉄道㈱が、事業者単独での福武線の存続は困難であるとの意見を行つたが、福武線存続に対する考えは。

A 昨年12月の議会で、福武線支援に対する請願が採択されたことを重く受け止め、議会とも相談の上、県と沿線3市で今後の対応を協議していきたい。

継体大王千五百年祭について

Q

10月初めのこの時期には、菊人形や各種イベントが行われており、大祭との相乗効果を図るために連携は図られているのか。

A 庁内の連絡体制としては、副市長を本部長として連絡会を設置し、支援体制や支援のあり方について随時協議を進めている。

集落営農の確立について

Q

昔ながらのお互いが支え合うことが集落営農の基本であり、今後越前市の農業をそういう方向へ進めていくべきではないか。

A 集落営農の推進は、農業を共同して支えていくという観点や、農業経営の効率化を図る観点からも非常に重要で効果的であると考えている。

日本共産党議員団

玉村 正夫

新世紀・市民派ネットワーク

三田村 輝士

公明党議員団 関 利英子

新世紀・市民派ネットワーク

細川 かおり

農業者災害互助制度について

Q 武生農業者災害互助制度が廃止されることに対し、営農協議会から存続の要望が出されたと聞くが、これをどう受け止めているのか。

A 保険業法の改正に伴い、小額短期保険業者登録をすれば、現在の互助制度を継続できるので、JAに対して、その方向での事業継続を要請している。

学校給食について

Q 学校給食における地産地消の推進のために、調理現場にどのような取組みを求めているのか。

A 学校給食の食材については、納入業者に発注すると、地場産食材が優先的に納入され、その食材に合わせた献立を作成している。

教育環境について

Q 学校のパソコンが整備されたが、さらに教育環境を高めるには教職員がいかにそれを使いこなすかが重要である。教職員の指導体制はどうなっているのか。

A 今回、誰もが3分以内に簡単に準備ができる、操作できる仕組みを整備したが、不安な場合には、IT授業のアシスタントを派遣する。

緊急医療体制について

Q 緊急の出産が見込まれる場合、丹南には地域周産期医療センターがなく福井市まで搬送しなければならないが、この現状をどう考えるか。

A 緊急医療体制については、安心して出産でできる広域的な対策を、県や関係機関と協議しながら要望をしていく。

環境問題について

Q 6月議会で提案したマイバッグ運動の推進について、町内や地区への出前講座の中で推進するとの答弁であったが、その後の推進状況は。

A 17回の出前講座の開催やリサイクル推進員の会議等での推進運動、市主催のイベント時に親子でレジ袋について話し合う機会を設けるなどの推進を図っている。



◀西地区でのマイバック運動

◆ 越前市ホームページ

2007たけふ菊人形では、ナイター営業を実施します！

ライトアップされた夜の菊花と、銀葉華からのたけふの夜景を、ご家族や大切な人に見て下さい。

【ナイト営業日】
10月14日(土)、6日(土)、7日(日)、12日(金)、13日(土)
【ナイト営業時間】
17時～20時
【料金】
大人300円、こども200円、ナイターパーク1,500円

市の観光ホームページ▶

観光振興について

Q 市の情報発信を県のブランド大使と連携し、市のホームページと他の市民団体のホームページについても、ページとのリンクについても、更に充実させていきたい。

A 県へは越前市の観光情報を提供し、ホームページ連携して進めていく中で、市が管理をする河川について、現在の改修の進捗状況は。

河川改修について

Q 治山治水事業を県と連携して進めていく中で、市が管理をする河川について、現在の改修の進捗状況は。

A 川区域の上流部分である普通河川を管理しており、豪雨の際に護岸が痛んだところは災害復旧などで対応しているが、未改修箇所はまだ随所にある。

A 要支援者の中には、タクシー利用サービスの対象になる方もいるので、窓口の方で相談してほしい。

意見書

可決された意見書は、国会及び関係行政庁へ提出しました。

- ・議会の監視機能の充実強化に関する意見書
- ・地方の道路整備促進に関する意見書

人事

・教育委員会委員の任命に同意

忌部 正（府中一丁目）

・公平委員会委員の選任に同意

山本 宣子（余田町）

・人権擁護委員の候補者の推薦に同意

花園 康子（村国三丁目）

所管事務調査

建設委員長から、「市内橋梁の耐荷力に関する調査及び発事業に関する調査について」、閉会中の継続審査としたい旨の申し出があり、本会議で承認されました。

請願審査

議会運営委員会に付託されていた「品目横断的経営安定対策の見直しと多様な担い手の育成を求める請願」は、委員会の審査を経て、本会議最終日に、玉川議会運営委員長から委員会審査結果が報告され、本会議で採決の結果、賛成多数で委員長報告のとおり、引き続き閉会中の継続審査と決しました。その際の主な討論内容は、次とおりです。

反対討論（要旨）

前田修議員

農村は今、高齢化、後継者不足が深刻で耕作放棄地が広がっている。その根底には、輸入農産物の急増による米価等農産物価格の低迷があり、この対策はさらなる輸入自由化を進め、中小農家を切り捨てる農村の疲弊を加速させるため、抜本的な見直しを求める。日本農業を再生するには、輸入を規制し価格保障の復活・充実と多様な担い手の育成が必要である。直ちにこの議会での請願採択を要望し、閉会中の継続審査に反対する。

賛成討論（要旨）

関議員

この対策は日本農業の大転換として、麦、大豆などの品目横断対策を進め自給率を向上させるものである。これは中小農家を切り捨てるものではなく、全ての農家が参加できる仕組みであり、高齢化の進む農家にとってもメリットがある。今後は、その推移を見守り、手続に煩雑な問題が出てくるれば是正措置を講じていくことが大事である。また、食糧の安全保障の面からも必要であり、閉会中の継続審査に賛成する。

一般質問

事業継続計画について

Q 災害時ににおける事業継続計画に対する、事業継続計画の策定に対する、事業継続計画は、国が17年度から取組みを始め、企業でも最近になり必要性が認識され始めた。市としては、今後、情報収集を行い対応について研究していくたい。



東小学校の屋外スピーカー▶



地震速報に対する取組み

Q 気象庁等が行う地震速報サービスに対する、越前市としての協調、取り組み体制はどうなっているのか。

A 全国瞬時警報システムから受信した速報を、行政無線を通じて小学校の屋外スピーカーや区長宅に伝達する。周知については市の広報やホームページ、チラシによる配付を考えている。



10月2日から審査が始まり、
なお、決算特別委員会は、
員は次のとおりです。
中の継続審査とした平成18年
度各会計決算認定16案を審査
するため、決算特別委員会を
設置しました。選任された委
員は次のとおりです。

決算特別委員会を設置

今定例会に提案され、閉会
中の継続審査とした平成18年
度各会計決算認定16案を審査
するため、決算特別委員会を
設置しました。選任された委
員は次のとおりです。

玉嵐伊小
村藤形
正康善輝慶恵
夫等司信士一子

・岐阜県可児市
議会報告会の運営、議会基
本条例について
・岐阜県伊賀市
議会報告会の運営、議会基
本条例について
・岐阜県高山市議会議員18名
「議会改革について」
10月11・12日
10月18日
議会運営委員では、
19日に、議会改革について
の行政視察を行いました。

決算特別委員会

委員長
副委員長
委員
次回の12月定例会で委員会審査
結果が報告されます。

行政視察を実施

友好都市議会議員
との行政懇談会が
開催されました

岐阜県本巣市議会議員20名
「今後の交流等について」
10月24日
10月11・12日
岐阜県高山市議会議員18名
「議会改革について」
10月11・12日
10月18日
議会運営委員では、
19日に、議会改革について
の行政視察を行いました。



▲高山市との行政懇談会

平成19年9月定例会の審議議案

◎満場一致可決 ○賛成多数可決 △継続審査

【予算】

- 平成19年度越前市一般会計補正予算（第2号）
- 平成19年度越前市下水道特別会計補正予算（第1号）
- 平成19年度越前市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 平成19年度越前市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 平成19年度越前市立工業団地事業特別会計補正予算（第1号）
- 平成19年度越前市水道事業会計補正予算（第1号）

【決算】

- △平成18年度各会計決算認定案16案

【条例】

- 越前市長の資産等の公開に関する条例の一部改正について
- 越前市職員の退職手当に関する条例の一部改正について
- 越前市市税賦課徴収条例及び越前市下水道条例の一部改正について
- 越前市ひまわり作業所設置及び管理条例の一部改正について
- 越前市身体障害者福祉工場設置及び管理条例の一部改正について
- 越前市駐車場設置及び管理条例の一部改正について

【一般議案】

- 町の区域の変更について
- 町及び字の区域の変更について
- 町の区域の変更及び字の区域の廃止について
- 市道路線の認定及び変更について
- 工事の請負契約について
- 越前市土地開発公社定款の一部変更について

【人事】

- 教育委員会委員の任命につき同意を求めることがあります。
- 公平委員会委員の選任につき同意を求めることがあります。
- 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることがあります。

【請願】

- △品目横断的経営安定対策の見直しと、多様な担い手の育成を求める請願

【意見書】

- 議会の監視機能の充実強化に関する意見書の提出について
- △地方の道路整備促進に関する意見書の提出について

12月定例会日程

▼12月5日(水)

本会議（決算委員会審査結果報告、質疑、討論、採決）

提案理由説明

▼12月10日(月)

本会議（代表質問）

▼12月17日(月)～19日(水)

各常任委員会、特別委員会

▼12月21日(金)

本会議（委員会審査結果報告、質疑、討論、採決）

※議事の都合により日程が変更になる場合があります。

委員会審査

市長から提出された議案を審査するため、各委員会が開催されました。掲載記事は委員長報告の主な内容です。

功に向けて懸命に取り組んでいきたい。との答弁がなされました。

教育厚生委員会

■障害者施設整備事業について

理事者から、障害者施設整備事業の今日までの経緯等について、詳細な説明が行われ、

■こしの都1500年事業について

委員からは、こしの都千五百大祭が、10月5日に開幕を迎えるに当たり、市民へのPRが、まだ不十分であることから、市の積極的な取り組み方がただされました。

理事者からは、ポスターや看板の掲示、チラシの配布、新聞への折込みなどを実行しているが、全体的にPRが遅れていることは否めない。9月の広報で再度市民に周知を図るとともに、出向宣伝隊による報道機関をはじめ、各機関へのPR活動も開始をしましたところである。今後、市及び実行委員会あげて事業の成

分の1に当たる306万2千円を計上したものである。との説明がありました。

産業経済委員会

■観光ボスター作成業務委託について

委員からは、観光ボスターの作成方針や配布先について、ただされました。

理事者からは、今回作成する観光ボスターは、ゴールデンウイーク前後に開催されるイベントを掲載し、県内や近隣県の旅行エージェントを中心配布をして、魅力ある情報発信ができるように努めたとの説明がなされました。

理事者からは、今回作成する観光ボスターは、ゴールデンウイーク前後に開催されるイベントを掲載し、県内や近隣県の旅行エージェントを中心配布をして、魅力ある情報発信ができるよう努めています。

建設委員会

■公園整備事業について

委員からは、瓜生水と緑公園の用地取得に対する今後の予定についてただされました。

理事者からは、現在、北側の2・3ヘクタールの面積備地を進めており、用地について得した土地を、計画的に買い戻しを行っているところであるが、まだ、北側にも民有地が2筆残っています。南側についても新たに用地の取得をし、それでも新たに用地の取得をしないかななければならない。面積的な整備については、順次、進められており、東部下水処理場の供用開始に併せて、公園も一部、供用できるようになります。来院は、6階です。来院は、

本会議は、住所、氏名などを記入するだけで、どなたでも傍聴できます。場所は本庁舎別館6階です。来院は、なるべく公共交通機関を利用されるか乗り合わせでお越しください。

丹南CATVで放映

本会議の様子を

CATVコミュニティチャンネルでご覧になれます。一般質問時には、質問項目一覧を放映するなど、分かりやすい放送に努めています。

市議会を傍聴しましょう

本会議は、住所、氏名などを記入するだけで、どなたでも傍聴できます。場所は本庁舎別館6階です。来院は、なるべく公共交通機関を利用されるか乗り合わせでお越しください。

問合先 市議会事務局
☎(22) 3426